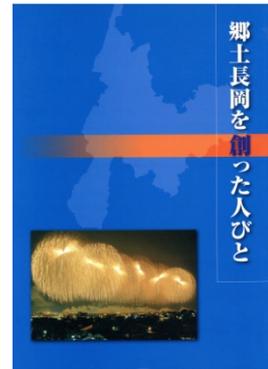


長岡の先人たちの伝記と人物誌 ブックリスト

★郷土長岡を創った人びと 長岡市／編 長岡市 2009

長岡市の各地域（長岡、中之島、越路、三島、山古志、小国、和島、寺泊、栃尾、与板）のまちづくりに貢献した67人を紹介しています。

長岡市制百周年記念事業のアイデア募集で寄せられた市民の提案から始まった企画で、市民参加で編集し、刊行された冊子です。入門書的な本です。



★河井継之助傳 今泉鐸次郎／著 目黒書店 1931

様々な史料や証言をもとに、河井継之助の出生から遊学時代、藩政改革に携わった時期から戊辰戦争に至るまで、事績が詳細に書かれています。河井の人物像を知るには欠かせない1冊です。昭和55年には象山社から復刻版が出されています。地域史研究者必読の書です。

★南蒲原郡先賢傳 武石貞松／編 新潟県南蒲原郡役所 1923

南蒲原郡の先人たちをまとめた人物事典です。14人が紹介されており、その中のひとり高橋竹之助の項では、戊辰戦争での活躍や長岡に漢学塾である誠意塾をひらいたことが記されています。本書は誠意塾で学んだ武石貞松によって編さんされました。

★久須美父子の遺徳を偲ぶ 久住元昭／著 久須美父子遺徳顕彰会 1959

越後鉄道の敷設に尽力した久須美秀三郎・東馬父子の事績が紹介されています。小島谷の名家である久須美家の系譜や、新潟新聞社長を務めた坂口仁一郎から久須美氏へ宛てた書簡など、関連史料も多数掲載されています。北越の地における名園の一つとされた住雲園（旧久須美邸）を訪れる前に、読んでおきたい書です。

ここで紹介した本は、長岡市立中央図書館でご覧いただけます。貸出できるものもありますのでお気軽にお問い合わせください。

その他にも図書館にはたくさんの資料があります（『長岡市史』『栃尾市史』など自治体史で紹介しているだけでなく、小説もあります）。

どうぞご利用ください！



長岡の先人たちの伝記と人物誌 ブックリスト

「郷土長岡を創った人びと展」で紹介している人物に関する主な刊行物を集めました。

書名(人物名)	著・編者	出版社・発行	出版年	備考
北越名流遺芳 第二集 (高野余慶ほか)	今泉鐸次郎／編	目黒書店	1915	
牧野家譜 上・下 (牧野忠成ほか)	今泉鐸次郎／編	長岡史料刊行会	1921、 1922	
南蒲原郡先賢傳 (高橋竹之介)	武石貞松／編	新潟県南蒲原郡役所	1923	★
三島億二郎翁 (三島億二郎)	今泉鐸次郎／著	北越新報社	1927	
小林病翁先生伝 (小林虎三郎)	松下鉄蔵／著	松下鉄蔵	1930	
河井継之助傳 (河井継之助)	今泉 鐸次郎／著	目黒書店	1931	★
山口権三郎翁伝記 (山口権三郎)	廣井重次／著	岩瀬直蔵	1934	
互尊翁 (野本恭八郎)	丸田亀太郎／著	日本互尊社	1937	
三島億二郎伝 (三島億二郎)	今泉省三／著	覚張書店	1957	
久須美父子の遺徳を偲ぶ (久須美秀三郎)	久住元昭／著	久須美父子遺徳顕彰会	1959	★
丸山家の歴史－「越後名寄」の著者丸山元純とその一族 (丸山元純)	丸山直友／著		1976	
人間 山本五十六 (山本五十六)	反町 栄一／著	光和堂	1979	
虹の館－父・堀口大學の思い出－ (堀口大學)	堀口すみれ子／著	かまくら春秋社	1987	
評伝松岡讓 (松岡讓)	関口安義／著	小沢書店	1991	
栃尾と人物 (富川大塊ほか)	栃尾市教育委員会／編	栃尾市教育委員会	1992	
あったてんがの－水沢謙一の昔話の世界－ (長岡市史双書 No.29) (水沢謙一)	長岡市史編集委員会／編	長岡市	1995	
越後の発掘遺跡－思い出の史蹟・思い出の人々－ (長岡市史双書 No.30) (中村孝三郎)	中村孝三郎／著	長岡市	1995	
小林虎三郎の求志洞遺稿 小林安治 国訳・略註 (長岡市史双書 No.34) (小林虎三郎)	長岡市史編集委員会／編	長岡市	1995	
ふるさと長岡の人びと (高村眞夫ほか)	長岡市／編	長岡市	1998	
水島爾保布 著作書誌・探索日誌 (水島爾保布)	かわじもとたか／編著	けやき出版	1999	
与板のひとびと－与板の人物誌 (直江兼続ほか)	与板町教育委員会／編	与板町教育委員会	2005	
山田又七小伝 (山田又七)	内山弘／著	新潟日報事業社	2007	
郷土長岡を創った人びと (田邊義正ほか)	長岡市／編	長岡市	2009	★
鉞子 世界を魅了した「武士の娘」の生涯 (杉本鉞子)	内田 義雄／著	講談社	2013	
井上 円了 (井上円了)	三浦節夫／著	新潟日報事業社	2014	

マル得情報！ 資料調査の奥の手？

○中央図書館で国立国会図書館の資料約142万点が見られます！！

長岡市立図書館の貸出カードをお持ちの方であれば、だれでも国立国会図書館所蔵の昭和43年以前に受け入れられた図書など貴重な資料142万点を専用のパソコンで、閲覧できます（複写は、白黒1枚10円、カラーは、1枚50円です）。たとえば、三島億二郎だったら、亡くなった翌年に書かれた「故三島億二郎氏の略傳」（『交詢雑誌』439、1892年）などです。ぜひ、一度ご活用ください。

※国会図書館デジタルコレクションはインターネット公開、図書館送信資料、国会図書館内限定の3区分となっています。